

学年:	2年生	Stage:	Stage I	コード:	L2403	単位:	1.7
モジュール名	全身解剖学			科目担当責任者	天野 カオリ		
モジュール名(英字)	Human Anatomy			コース名	LOM 生命科学口腔病態系		
一般目標(GIO)	<p>Stage I・II 全身解剖学講義はStage IIIの全身解剖実習に先がけて、解剖学全般の知識をひととおり習得する事が最大の目標です。全身の骨格系(骨・軟骨・筋肉・靭帯)について学ぶ運動器系、心臓と全身の脈管系・リンパ管について学ぶ循環器系、中枢神経と末梢神経(自律神経系を含む)、運動と感覚に関わる伝導路、視覚・聴覚を含む特殊感覚器系について学ぶ神経系(中枢・末梢)、口腔(咽頭・食道・胃・十二指腸・空腸・回腸・結腸・直腸)から肛門までの中空性器系と肝臓・胆嚢・膵臓の構造について学ぶ消化器系、鼻腔から喉頭・気管・主気管支・細気管支、肺の構造/区域と機能について学ぶ呼吸器系、内分泌器系と外分泌器系の構造、腎臓・膀胱・子宮・卵巣・精巣構造を含む泌尿生殖器系に区分し人体の構造と機能について習得していきます。最終講義日は全身骨学実習日となります。ポリウムはありませんが、各講義後に自主的にノートを作成し(タブレット使用可)、各講義後は速やかに復習することを心掛けて下さい。また、人体解剖実習は法的に医学生と歯学生のみ参加が許される必修実習科目であり、本講義中にご献体解剖に関する倫理事項(死体解剖保存法に基づく)と日本における献体機構の役割と社会的意義について学びます。ご献体者様とご遺族様への敬意と感謝の気持ちを忘れず講義に臨んで下さい。講義の流れによってはシラバスに掲載されている内容とは異なる場合もあることを念頭に置いて受講して下さい。なお講義時使用するパワーポイント資料には解剖写真が多く含まれますので、本講義時内容に関する写真撮影ならびに動画の撮影は一切禁止とします。講義中に撮影したり、SNS上に投稿した等を確認した場合は処分の対象となります。</p>						
ユニット:一般目標	<ol style="list-style-type: none"> 運動器(全身の骨格系と骨の連結・関節構造) ヒト骨の発生様式と連結様式、全身の骨格系について学び骨学実習で座学で習得した知識とリンクさせて習得する。 運動器(全身の骨格筋と付属装置・神経支配) 全身の骨格筋について構造/位置関係と神経支配、起始/停止、筋肉の付属装置(筋膜/腱膜構造・腱滑車・中間腱等)について学ぶ。 循環器(心臓と全身の血管系・リンパ管) 心臓/心臓内部構造と栄養血管・大循環・肺循環・動脈・静脈・毛細血管/リンパ管の構造と走行/分布領域について学ぶ。 神経系(中枢神経と末梢神経・脳機能区分・脳栄養血管) 中枢神経(脳・脊髄)と末梢神経(脳神経・脊髄神経・自律神経)の構造と機能について学ぶ。また脳の機能区分と栄養血管の走行/分布領域について学ぶ。 神経系(脳の機能・伝導路) 錐体路や錐体外路系運動機能の伝導路に関わる中枢領域について、また痛覚や深部感覚などの一般感覚、聴覚や視覚など特殊感覚に関わる伝導路と中枢領域について学ぶ。 特殊感覚器系(視覚器・聴覚/平衡感覚器と付属器官) 視覚器(眼底内構造・眼球と付属器官:眼球を動かす筋群)の構造と支配神経・視覚伝導路について学ぶ。聴覚と平衡感覚器(外耳・中耳・内耳)の構造と聴覚伝導路について学ぶ。 消化器系(口腔/咽頭~肛門/肝臓・胆嚢・膵臓) 消化器系を口腔/咽頭から肛門までの中空性器系と肝臓・胆嚢・膵臓など実質臓器に分けて位置・構造・機能について学ぶ。 呼吸器系(鼻腔/喉頭~気管・主気管支・細気管支・肺) 呼吸器系を鼻腔・喉頭から主気管支・細気管支・肺の構造と区分や区域、喉頭軟骨や喉頭筋群の構造と機能ならびに神経支配について学ぶ。 内分泌器系・外分泌器系 内分泌器系/内分泌物質と外分泌器系/外分泌物質について学ぶ。 リンパ性器系 胸腺・脾臓・扁桃の構造と機能について学ぶ。 泌尿器・生殖器 男女の泌尿器/生殖器系の構造と位置関係ならびに機能について学ぶ。 						

教育目標

ディプロマポリシー	DPI1-1/1-2/1-3	DP2-1/2-2/2-3	DP3-1/3-2/3-3	カリキュラムポリシー-CP	CP2,CP3
	a / - / b	- / b / -	a / - / a		
<p>a.学習成果を上げるために特に強く履修することが求められる科目 b.学習成果を上げるために強く履修することが求められる科目 c.学習成果を上げるために履修する科目</p>					

教科書等 記号 / 書名 / 著書など / 発行所・HPアドレスなど

講義時に参考図書についての説明をします。
 教 1/ 解剖学カラーアトラス/ Roben 横地/ 医学書院
 参 1/ Qシリーズ解剖学/ 加藤 征/ 日本医事新報社
 参 10/ 口腔の機能と解剖/ 田畑 純・角田佳折/ 南山堂
 参 2/ あたらしい人体解剖学アトラス/ 佐藤達夫/ メディカルサイエンス・インターナショナル
 参 3/ プロメテウス解剖学コアアトラス第四版/ 坂井建雄他/ 医学書院
 参 4/ グレイ解剖学第三版/ 秋田憲一訳/ エルゼビアジャパン・インターナショナル
 参 5/ イラスト解剖学第10版/ 松村謙兒/ 中外医学社
 参 6/ 分担解剖学1(総説・骨・靭帯・筋)・2(脈管・神経)・3(感覚器・内臓)/ 養老孟司他/ 金原出版株式会社
 参 7/ プロメテウスアトラスコンパクト版 第2版/ 坂井建雄訳/ 医学書院
 参 8/ 入門人体解剖学/ 藤田恒夫・藤田信也/ 南江堂
 参 9/ イラスト口腔顔面解剖学/ 松村謙兒・島田和幸/ 中外医学社

評価方法

出席	全身解剖学講義(Stage I・II)は原則全出席してください、やむを得ず欠席した場合は必ずオンデマンド講義を利用して履修してください。						
モジュール試験(%)	80	客観式試験で行います。					
アクティビティ(%)	20	骨学課題レポートの提出と骨学実習への参加をアクティビティ評価に含めます。					
	アクティビティ詳細(%)	事前試験	実技評価	レポート	口頭試問	態度評価	その他
				10		10	
再試験の評価方法	客観式試験で行います。						
フィードバックについて	モジュール試験後に、フィードバック講義を実施します。						
アクティブラーニング	非該当						

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_001_4/7_1	2026/04/07	1		講義	31番教室	60
ユニット	人体の構造と機能総論と臨床との関連					
サブユニット	人体の形態構造/解剖学総論					
授業目標	1)医学、歯学における基礎医学の重要性と位置づけ分類と概念 2)医学史 3)系統解剖学、局所解剖学、肉眼解剖学、組織学、発生学 4)献体制度とその社会的意義 5)解剖学会倫理指針の改定に基づく注意事項 6)医学用語 1)-6)について理解する。					
キーワード	基礎医学 社会医学 臨床医学 解剖学・献体制度(歴史と献体組織の活動) 解剖学 医学用語					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-2-1,A-3-1-2-2,A-3-1-2-3,A-3-1-2-4					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e.総論Ⅱ-1-イ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_002_4/7_2	2026/04/07	2		講義	31番教室	60
ユニット	人体の構造 運動器の構造と機能					
サブユニット	骨の構成と構造・機能					
授業目標	1)骨の発生様式(膜内骨化・軟骨内骨化) 2)骨の構造(緻密骨・海面骨) 3)骨格系の役割について 4)骨の連結様式について 1)-4)を説明できる。					
キーワード	膜内骨化、軟骨内骨化、骨芽細胞、破骨細胞、骨リモデリング、骨粗鬆症、緻密骨、海綿骨、層板構造、骨の連結様式(骨性連結、軟骨性連結、線維性連結、滑膜性連結)					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-2-1,A-3-1-2-2,A-3-1-2-3,A-3-1-2-4					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e.総論Ⅱ-1-イ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_003_4/10_1	2026/04/10	1		講義	31番教室	60
ユニット	人体の構造 運動器の構造と機能					
サブユニット	骨の構成と構造・機能					
授業目標	1)関節の分類について 2)全身の骨格系について 3)上肢帯骨と上肢骨と下肢帯骨と下肢骨の構造について 4)骨盤の構造と基準線について 1)-4)を説明できる。					
キーワード	関節分類(蝶番関節/車軸関節/顆状関節/平面関節/鞍関節/球関節)、上肢帯(肩甲骨/鎖骨)、上肢骨(上腕骨・橈骨・尺骨・手根骨)下肢帯骨(寛骨)、仙骨、尾骨、下肢骨(大腿骨・脛骨・腓骨・膝蓋骨・足根骨)、骨盤の構造(分界線/小骨盤/大骨盤/骨盤腔)、マックバーニ一点、ヤコビー線、リヒターモンロー線					
担当	天野 カオリ					

学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)
コアカリ(令和4年)	A-3-1-2-1,A-3-1-2-2
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-1-イ-a

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_004_4/10_2	2026/04/10	2		講義	31番教室	60
ユニット	人体の構造 運動器の構造と機能					
サブユニット	骨の構成と構造・機能					
授業目標	1)脊柱を構成する椎骨の特徴(頸椎/胸椎/腰椎/仙椎/尾骨)、胸郭(肋骨/胸骨)の構造について 2)重要な基準線と各椎骨レベルに位置する器官や臓器について 1)-2)を説明できる。					
キーワード	脊柱の構成と特徴(頸椎、胸椎、腰椎、仙椎)胸郭の構造としくみ(肋骨、胸骨)					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-2-1,A-3-1-2-2					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-1-イ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_005_4/14_1	2026/04/14	1		講義	31番教室	60
ユニット	人体の構造 運動器の構造と機能					
サブユニット	骨の構成と構造・機能					
授業目標	1)上肢帯(肩甲骨/鎖骨)・自由上肢、胸鎖関節について 2)上腕骨、橈骨、尺骨について 3)手根骨と手根骨の化骨時期について 1)-3)を説明できる。					
キーワード	上肢帯(肩甲骨/鎖骨)、上肢骨(上腕骨・橈骨・尺骨・手根骨)、胸鎖関節					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-2-1					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-1-イ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_006_4/14_2	2026/04/14	2		講義	31番教室	60
ユニット	人体の構造 運動器の構造と機能					
サブユニット	骨の構成と構造・機能					
授業目標	1)下肢帯・骨盤の構造(体表面から触知できる部位と基準線、骨盤性差)について 2)分界線・骨盤腔について 3)自由下肢の構成・大腿骨・膝蓋骨、脛骨、腓骨、足根骨・縦/横足弓について 1)-3)を説明できる。					
キーワード	骨盤(寛骨、仙骨)、分界線、骨盤腔(小骨盤・大骨盤)、大腿骨、脛骨、腓骨、足根骨(距骨・踵骨・舟状骨・内側/外側楔状骨)、膝蓋骨、腓骨、脛骨、足指の骨、リスフラン関節、シヨバールの関節、縦足弓・横足弓					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-2-1					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-1-イ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_007_4/17_1	2026/04/17	1		講義	31番教室	60
ユニット	人体の構造 運動器の構造と機能					
サブユニット	骨の構成と構造・機能					
授業目標	1)頭蓋冠と顔面骨を構成している骨の構造について 2)縫合と泉門について 3)内頭蓋底と外頭蓋底について 3)頭蓋の孔と通過する脳神経・血管系について 4)症状から判断できる脳神経の疾患について 5)泉門の閉鎖不全と早期癒合症による障害について 1)-5)を説明できる。					
キーワード	脳頭蓋、顔面頭蓋、頭蓋縫合(冠状縫合・矢状縫合・ラムダ縫合)小泉門・大泉門(頭蓋縫合早期癒合症・縫合不全)頭蓋底、外頭蓋底、頭蓋の孔と脳神経12対と通過する孔、脳神経疾患について					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-2-1					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e.総論Ⅱ-1-イ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_008_4/17_2	2026/04/17	2		講義	31番教室	60
ユニット	人体の構造 運動器の構造と機能					
サブユニット	骨の構成と構造・機能					
授業目標	1)顔面骨の構造について 2) 眼窩を構成する骨と通過する神経血管系について 3)副鼻腔の構造と開口部位、重要な関連疾患について 1)-3)を説明できる。					
キーワード	顔面頭蓋、蝶形骨、篩骨、上顎骨、下顎骨、頬骨、涙骨、鼻骨、鋤骨、口蓋骨、下鼻甲介、舌骨、眼窩を構成する骨7つ(眼窩骨折)、副鼻腔(前頭洞、蝶形骨洞、篩骨洞、上顎洞)副鼻腔炎、鼻・歯性上顎洞炎、上鼻道・中鼻道・下鼻道・上鼻甲介・中鼻甲介・下鼻甲介・半月裂孔					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-2-1					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e.総論Ⅱ-1-イ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_009_4/21_1	2026/04/21	1		講義	31番教室	60
ユニット	人体の調節機構 運動器の構造と機能					
サブユニット	筋の構造と機能					
授業目標	1) 骨格筋(横紋筋)について 2)筋膜と筋の補助装置について 3)起始停止、支配神経について 1)-3)を説明できる。					
キーワード	起始と停止、筋膜(表情筋の筋腱膜構造SMAS)、腱、筋滑車、多腹筋、支配神経、栄養血管系					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-3-1,A-3-1-3-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e.総論Ⅱ-1-イ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

L2403_010_4/21_2	2026/04/21	2		講義	31番教室	60
ユニット	人体の調節機構 運動器の構造と機能					
サブユニット	筋の構造と機能					
授業目標	1) 表情筋、咀嚼筋、舌骨上・下筋群と起始停止・支配神経について 2) 広頸筋、胸鎖乳突筋、前・中・後斜角筋群と起始停止/支配神経について 3) 斜角筋群を通るものについて 1)-3)を説明できる。					
キーワード	表情筋(顔面神経)、咀嚼筋(下顎神経)、舌骨上筋群(顎二腹筋前腹・下顎神経、顎二腹筋後腹・顔面神経、顎舌骨筋・下顎神経、オトガイ舌骨筋・舌下神経、茎突舌骨筋・顔面神経)、舌骨下筋群(胸骨甲状筋・肩甲舌骨筋・胸骨甲状筋・甲状舌骨筋・頸神経ワナ)、胸鎖乳突筋(副神経/頸神経叢)、前/中/後斜角筋、腕神経叢分岐、鎖骨下動脈分岐、腋窩動脈分岐、前腕動脈(橈骨・尺骨動脈)					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-3-1,A-3-1-3-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-1-イ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_011_4/24_1	2026/04/24	1		講義	31番教室	60
ユニット	人体の調節機構 運動器の構造と機能					
サブユニット	筋の構造と機能					
授業目標	1) 浅背筋と深背筋・後頭下筋群・固有背筋・脊柱起立筋と神経支配について 2) 腹直筋(腹直筋鞘)、側腹筋群(外腹斜筋・内腹斜筋・腹横筋)について 1)-2)を説明できる。					
キーワード	僧帽筋(副神経/頸神経叢)、広背筋(胸背神経)、大・小菱形筋・肩甲挙筋(肩甲背神経)、固有背筋(脊髄神経後枝)、脊柱起立筋(最長筋・腸筋筋・棘筋)、多裂筋群、頭板筋、頭半棘筋、後頭下筋群(後頭下三角・椎骨動脈)、大後頭神経、後頭下神経、第三後頭神経、脊髄神経後枝、腹直筋(腹直筋鞘)、外・内腹斜筋、腹横筋					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-3-1,A-3-1-3-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-1-イ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_012_4/24_2	2026/04/24	2		講義	31番教室	60
ユニット	人体の調節機構 運動器の構造と機能					
サブユニット	筋の構造と機能					
授業目標	1) 胸部の筋と神経支配について 2) 横隔膜の構造と貫通するものについて 1)-2)を説明できる。					
キーワード	大・小胸筋(外側/内側頸筋神経)、前鋸筋(長胸神経)、横隔膜と横隔膜の孔と貫通するもの(大動脈裂孔/食道裂孔/大静脈孔)					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-3-1,A-3-1-3-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e,総論Ⅱ-1-イ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_013_4/28_1限	2026/04/28	1		講義	31番教室	60
ユニット	人体の調節機構 運動器の構造と機能					
サブユニット	筋の構造と機能					

授業目標	1) 上肢の筋群と支配神経について 2) 肩甲骨に付着する筋群と回旋筋腱板について 3) 手の筋群と支配神経、神経障害について 1)-3)を説明できる。
キーワード	三角筋・小円筋(腋窩神経)、大円筋、肩甲挙筋、烏口腕筋・上腕筋・上腕二頭筋(筋皮神経)、上腕三頭筋(橈骨神経)、前腕の屈筋群と伸筋群、腕神経叢(筋皮/正中/尺骨/橈骨/腋窩)、前・中・後斜角筋、斜角筋隙、鎖骨下動脈、棘上筋・棘下筋(肩甲上神経)、回旋筋腱板、虫様筋、骨間筋、手指の筋群、正中神経/尺骨神経/橈骨神経麻痺症状
担当	天野 カオリ
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)
コアカリ(令和4年)	A-3-1-3-1,A-3-1-3-3
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e.総論Ⅱ-1-イ-b

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_014.4/28.2限	2026/04/28	2		講義	31番教室	60
ユニット	人体の調節機構 運動器の構造と機能					
サブユニット	筋の構造と機能					
授業目標	1) 下肢帯・大腿と下肢の筋群について 2) 下肢帯・大腿と下肢の筋群の構造と支配神経について 3) 股関節の回旋筋群と坐骨神経について 4) ハムストリングスと驚足の構造/関連筋群について 5) 下腿三頭筋の構成とアキレス腱/停止部について 1)-5)を説明できる。					
キーワード	大/中・小殿筋、上/下殿神経・動脈、大腿筋膜張筋、股関節の回旋筋群(梨状筋・上/下双子筋・内閉鎖筋・大腿方形筋)、腸脛靭帯、大腿二頭筋、半腱様筋、半膜様筋、ハムストリングス、下腿三頭筋(腓腹筋/ヒラメ筋)、アキレス腱、踵骨、仙骨神経叢(坐骨神経・総腓骨神経/脛骨神経)、大腿四頭筋(大腿直筋・外側/内側/中間広筋)腸骨筋、恥骨筋、短/長/大内転筋、大腿三角(長内転筋・縫工筋・鼠径靭帯)、大腿動/静脈、大腿神経、腰神経叢、驚足(縫工筋・薄筋・半腱様筋)、前脛骨筋、長趾伸筋、第三腓骨筋、長母趾伸筋、長/短腓骨筋、足背筋足底筋					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-3-1,A-3-1-3-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e.総論Ⅱ-1-イ-b					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_015.5/1_1限	2026/05/01	1		講義	31番教室	60
ユニット	循環器系の形態					
サブユニット	脈管学総論 毛細血管 心臓					
授業目標	1) 全身の血液循環系統について 2) 毛細血管の分布と働きについて 3) 心臓の位置と内部構造について 4) 心臓の弁構造と心臓壁構造について 5) 心臓の栄養血管について 6) 刺激伝導系について 7) 胎児循環について 1)-7)を説明できる。					
キーワード	全身の血液循環系統と胎児循環、体循環系、肺循環系、心膜、左心室、右心室、左心房、右心房、僧帽弁、三尖弁、乳頭筋、腱索、肉柱、橈状筋、大動脈弁、肺動脈弁、刺激伝導系(洞房結節、房室結節、ヒス束、右脚、左脚、プルキンエ繊維)、冠動脈、胎児循環(動脈管/ボタロー管・静脈管/アランチウス管・卵円孔・臍静脈・臍動脈)					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-4-2,A-3-1-4-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e.総論Ⅱ-1-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
-------	-----	----	---	------	----	-----------

L2403_016_5/1_2限	2026/05/01	2		講義	31番教室	60
ユニット	循環器系の形態					
サブユニット	動脈 静脈 肺循環の血管系					
授業目標	1)血管壁の構造について 2)動脈壁と静脈壁構造の違いについて 3)浅層静脈と深層静脈の構造について 4)静脈瘤について 1)-3)を説明できる。					
キーワード	動脈壁・静脈壁の構造、浅層静脈の特徴(皮静脈)、深層の静脈(伴行静脈)の特徴、吻合、エコノミークラス症候群、静脈の怒張					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-4-2,A-3-1-4-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_017_5/8_1限	2026/05/08	1		講義	31番教室	60
ユニット	循環器系の形態					
サブユニット	全身の血管系					
授業目標	1)血管壁の構造について 2)動脈壁と静脈壁構造の違いについて 3)浅層静脈と深層静脈の構造について 4)リンパ・リンパ管・リンパ節・リンパ器官について 5)吻合と終動脈について 1)-5)を説明できる。					
キーワード	上行大動脈、大動脈弓、下行大動脈、胸大動脈、腹大動脈、総腸骨動脈(内腸骨動脈・外腸骨動脈)、鎖骨下動脈とその分岐、腋窩動脈、上腕動脈、前腕動脈、総頸動脈(内頸動脈・外頸動脈)、外頸動脈とその分岐、大腿動脈とその分岐、内頸動脈とその分岐、上大静脈・下大静脈、門脈、奇静脈・半奇静脈、リンパ・リンパ管(左リンパ本幹/胸管・右リンパ本幹)・リンパ節・リンパ性器官(扁桃・胸腺・脾臓)					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-4-1,A-3-1-4-2					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_018_5/8_2限	2026/05/08	2		講義	31番教室	60
ユニット	循環器系の形態					
サブユニット	全身の血管系					
授業目標	1)血管壁の構造について 2)動脈壁と静脈壁構造の違いについて 3)浅層静脈と深層静脈の構造について 4)リンパ・リンパ管・リンパ節・リンパ器官について 5)吻合と終動脈について 1)-5)を説明できる。					
キーワード	上行大動脈、大動脈弓、下行大動脈、胸大動脈、腹大動脈、総腸骨動脈(内腸骨動脈・外腸骨動脈)、鎖骨下動脈とその分岐、腋窩動脈、上腕動脈、前腕動脈、総頸動脈(内頸動脈・外頸動脈)、外頸動脈とその分岐、大腿動脈とその分岐、内頸動脈とその分岐、上大静脈・下大静脈、門脈、奇静脈・半奇静脈、リンパ・リンパ管(左リンパ本幹/胸管・右リンパ本幹)・リンパ節・リンパ性器官(扁桃・胸腺・脾臓)					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-4-2,A-3-1-4-6					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-ウ-a					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_019_5/12_1限	2026/05/12	1		講義	31番教室	60
ユニット	神経の構造と機能					
サブユニット	神経の構造					
授業目標	1) 神経細胞の構造と特徴について 2) 髄鞘の構造と機能、脱髄疾患について 3) 中枢神経と末梢神経について 4) 自律神経と働きについて 1)-4)を説明できる。					
キーワード	神経学総論(神経細胞の特徴・中枢神経と末梢神経)、神経の機能的区分、髄鞘、自律神経系					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-5-4,A-3-1-5-6,A-3-1-5-7					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-ク-d,総論Ⅱ-1-ク-a,総論Ⅱ-1-ク-b,総論Ⅱ-1-ク-c					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_020_5/12_2限	2026/05/12	2		講義	31番教室	60
ユニット	神経の構造と機能					
サブユニット	神経の構造					
授業目標	1) 大脳区分と構造・髄膜と脳脊髄液について 2) 脊髄の構造区分と灰白質・白質の働きについて説明できる 3) 一次運動野・一次感覚野、言語中枢について 4) 視覚中枢、聴覚中枢、味覚中枢について 5) 海馬の位置/構造と働きについて 6) 脳幹の区分と構造について 1)-6)を説明できる。					
キーワード	大脳区分、髄膜、脳脊髄液、灰白質と白質について、脳室、脳溝、脳回、脊髄の構造(頸髄・胸髄・腰髄・仙髄・尾髄、馬尾、終枝)、中心溝、外側溝、一次運動野、一次感覚野、一次視覚野、一次聴覚野、運動性言語領域(ブローカ)、感覚性言語領域(ウェルニッケ)、海馬、脳幹(中脳・橋・延髄)					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-5-4					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-ク-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_021_5/19_1限	2026/05/19	1		講義	31番教室	60
ユニット	神経の構造と機能					
サブユニット	神経の構造					
授業目標	1) 大脳基底核を構成する中枢領域と機能について 2) 錐体路・錐体外路系疾患について 3) 脳神経12対について 4) 小脳の構造と機能・小脳障害について 1)-4)を説明できる。					
キーワード	大脳基底核、尾状核・被殻/淡蒼核(レンズ核)・中脳、赤核・黒質、錐体路と錐体外路系、脳神経12対、小脳					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-5-1,A-3-1-5-2					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-ク-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_022_5/19_2限	2026/05/19	2		講義	31番教室	60
ユニット	神経の構造と機能					
サブユニット	神経の構造					
授業目標	1) 脳に分布する血管系について 2) 自律神経系の機能について 3) 脊髄神経前根・後根/前枝・後枝について 4) 頸神経叢の皮枝と筋枝について 5) 脳神経・栄養血管系と脳疾患との関係について 6) 上肢を支配する神経構造について 7) 下肢を支配する神経構造について 1)-7)を説明できる。					
キーワード	脳に分布する血管系(ウィリスの動脈輪)、脳の疾患、自律神経系の役割(副交感神経・交感神経幹)、頸神経叢(皮枝/大耳介神経・小後頭神経・頸横神経・鎖骨上神経・筋枝/横隔神経・頸神経ワナ)脊髄神経前根・後根()・前枝・後枝、皮節(デルマトーム)・上肢の神経叢(腕神経叢)、下肢の神経叢(腰神経叢・仙骨神経叢)					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-5-1,A-3-1-5-2,A-3-1-5-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-ク-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_023_5/19_3限	2026/05/19	3		講義	31番教室	60
ユニット	神経の構造と機能					
サブユニット	神経の構造					
授業目標	1) 脳に分布する血管系について 2) 自律神経系の機能について 3) 脊髄神経前根・後根/前枝・後枝について 4) 頸神経叢の皮枝と筋枝について 5) 脳神経・栄養血管系と脳疾患との関係について 6) 上肢を支配する神経構造について 7) 下肢を支配する神経構造について 1)-7)を説明できる。					
キーワード	脳に分布する血管系(ウィリスの動脈輪)、脳の疾患、自律神経系の役割(副交感神経・交感神経幹)、頸神経叢(皮枝/大耳介神経・小後頭神経・頸横神経・鎖骨上神経・筋枝/横隔神経・頸神経ワナ)脊髄神経前根・後根()・前枝・後枝、皮節(デルマトーム)・上肢の神経叢(腕神経叢)、下肢の神経叢(腰神経叢・仙骨神経叢)					
担当	天野 カオリ					
学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)					
コアカリ(令和4年)	A-3-1-5-1,A-3-1-5-2,A-3-1-5-3					
国試出題基準(令和5年)	必修4-ア-e,総論Ⅱ-1-ク-d,総論Ⅱ-1-ク-a,総論Ⅱ-1-ク-b,総論Ⅱ-1-ク-c,総論Ⅱ-1-ク-e					

授業コード	授業日	時限	班	学修方法	場所	自学自修時間(分)
L2403_024_5/19_4限	2026/05/19	4		講義	31番教室	60
ユニット	感覚器の構造と機能					
サブユニット	視覚器と聴覚器の構造と機能/付属装置					
授業目標	1) 眼球の構造について 2) 眼球を動かす筋群について 3) 眼球に分布する神経・血管系について説明できる。 4) 視覚伝導路について 1)-4)を説明できる。					
キーワード	涙腺(涙腺神経)、上眼瞼挙筋・上直筋(動眼神経)、上斜筋(滑車神経)、外側直筋(外転神経)、内側直筋・下斜筋・下直筋(動眼神経)、視神経、瞳孔散大筋(交感神経/毛様体神経節)、瞳孔括約筋(動眼神経)、角膜、強膜、硝子体、網膜、中心窩、黄斑、水晶体、葡萄膜(虹彩・毛様体・脈絡膜)、前/後篩骨動脈・眼高上動脈・滑車上動脈・前後毛様体動脈・涙腺動脈、眼動脈					
担当	天野 カオリ					

学修範囲(事前事後学修)	配布資料 解剖学カラーアトラス(横地)
コアカリ(令和4年)	A-3-1-6-1
国試出題基準(令和5年)	必修4-7-e